

保育計画成果報告書

法人名等	株式会社キューピールーム
施設名	キューピールーム新大塚園
報告者（役職）	渡辺 正恵（園長）
住所・連絡先	東京都文京区大塚 4-46-5 アトラスアベニュー文京大塚 1 階
	☎ 03-6912-0010
	E-mail info@qproom.jp

○タイトル（保育計画）

親子の記憶に残るつながり保育～五感で感じる～

○主な助成備品

IKEUCHI ORGANIC のタオル

1. 保育計画策定の目的

遊びや生活の中で赤ちゃんが口に含んでも安全な「IKEUCHI タオル」等を使用することによって、五感(視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚)を活用して記憶と結びつけていきたい。また同時にいつまでも残る記憶とも結びつけたい。

2. 具体的な実施内容

保育環境：お昼寝中に使用するタオルケット、水遊びや沐浴後に使用するバスローブ
園の貸し出しタオル、足ふきマット、アレルギー児用等、保育園での生活で感じ取れる環境を整備する。

0歳児…様々な感触のタオルを使った感触遊びを行う。頬につけ心地良い感触を試す。

いないいないばあの要領で頭にタオルをのせ自ら引いてとり、「ばあ」と保育士とやり取りする。

ハンモックの要領で落とさないように大判タオルの両端をそれぞれ保育士が持ち、子どもを乗せ軽くゆする。



1歳児…線路のタオルの上に電車を走らせて遊ぶ。二枚繋げて線路を長くしてみたり
ブロックで駅や駐車場のようなものを作り電車を停車させるなど遊びが広がって
いた。ただ床で電車を走らせることとは違い、線路の上を走らせることを楽しむ
姿が見られた。

ままごと遊びではクマの人形を椅子に座らせ次々に食べ物を持ってきては口元に
運んでいた。まだ言葉でのやり取りは少なく友だち同士と一緒に遊びを楽しむと
いうよりは、一人遊びが多い子どもたちだが、クマの人形を通して作った食べ物を
一緒に使用しお互いに食べさせる等、他児との関わりも見られた。



2歳児…大判のタオルを保育室に置いておくと自然と布団にして寝てみたり、休む場所と
して活用していた。

ままごと遊びではタオルをお家に見立て〇〇ちゃんのお家、〇〇君のお家とお家
ごっこが始まる。タオルの上で持ち寄った食べ物を食べ楽しんでいた。

ミニタオルでバナナを作って食べたりリボンにしたりして遊ぶ。

クマの人形を優しく抱き、母親のようにタオルの布団に寝かしつけたりと友だち
同士でごっこ遊びを発展させ楽しんでいた。



全体では…プール開き、プール終いに園児全員がバスローブを着用。

いつもとは違う格好に程よい緊張感を持ちながら約束事を聞くことができた。

濡れた体や、頭を拭くのにも便利で、冷えた体にまとうにも丁度良い。

0歳児は沐浴後に毎回使用。体全体が包めることで子どもも安心した様子であった。

毎月の誕生会にはフェルトの誕生ケーキをのせるお皿がわりに使用。

誕生日当日に友だちからお祝いされる喜びや特別感に自分の誕生日を心待ちにする姿が見られた。



3. その成果と評価

赤ちゃんが口に含んでも安全な「IKEUCHI タオル」は肌触りも良く保育の中で常に身近にあった。人形遊びでは優しい肌触りのためか自然と大事に扱いお世話する姿が印象的であった。「IKEUCHI タオル」を通して遊びが発展し、友だちとの関わりのきっかけにも繋がっていた。

日常の保育から行事の時等に使用し、子どもたちにとっても記憶に残るものとなった。

4. 今後の課題と展望

子育て支援等、地域交流でも使用する予定であったが今年は感染症拡大対策のため、地域の方を招いての活動ができず、地域交流としての使用には至らなかった。

今後、園内だけでなく幅広く使用できると良い。

以上